

歴代制服

大成裁縫女学校・水戸市大成女学校・大成高等女学校・大成女子高等学校



1909~

制服制定前

自由に着物羽織と袴を着用。



1924~

初代制服

紺サージの着物に
えび茶の袴、黒の革靴。



1928~

セーラー服

夏は白地、冬は紺地で
スカートは紺地の
車ひだ。
ネクタイは紺地で斜め
二本の白線をつけた。



1941~

全国標準服

女学生の制服が
全国同じ国民服的
スタイルに統一。
ヘチマ襟でベルト付き
上着。下はスカートから
モンペへ、靴から下駄へ
変わっていった。

1909

1924

1928

1941

1953

1961

1975

2005



1953~

ボレロジャケット

車ひだの
ジャンバースカートと
白えりブラウス。

当時は戦後8年とはいえ物
資が不足しており、布が少
なくて済む形を、飛田先生
始めとする被服の先生方で
考えた結果、この形が採用
された。



1961~

背広型ジャケット

車ヒダのジャンバース
カートと白えりブラウス。

広く生徒の意見も取り入れ、
決定。翌年冬には、オーバーの
形・色も決定。



1975~

明るい紺のブレザー

共布ベスト、
箱ヒダスカート、
エンジリボンに変更。



2005~

現在の制服

チャコールグレーの
ブレザー、ニットベスト、
チェックスカートまたは
スラックス、
カラーシャツ(3種)、
リボン(2種)。